

原子力災害医療基礎研修eラーニング 開催要領【令和8年度版】

【修正履歴】

5月25日修正版：水色でハイライトした箇所（p. 30）を変更

7月21日修正版：黄色でハイライトした箇所（p. 18、19）を変更

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）

放射線医学研究所

原子力防災推進部人材育成・研修課

eラーニングサポート窓口

(elearning-support@qst.go.jp)

令和7年度開催要領からの変更点

- 大きな変更はありません。

ただし、以下の点が変更になりました。

- 基礎研修の開催形式として、対面・参集でeラーニング標準動画教材を視聴する形式が追加されました。
【本資料p. 5の緑色ハイライト箇所】
- 質問に対しては、本人にメールで回答してください。その際、BCCにeラーニングサポート窓口elearning-support@qst.go.jpを入れてください。【本資料p. 9、 p. 30の緑色ハイライト箇所】
(従来は、eラーニングシステム上で回答)
- 受講者ユーザーを削除する必要がある場合は（例：誤登録）、eラーニングサポート窓口elearning-support@qst.go.jpまでご連絡ください。【本資料p. 33の緑色ハイライト箇所】
(従来は、研修管理者が受講者ユーザーを削除できましたが、システムの設定を変更したので、研修管理者には削除権限がなくなりました)
- 同一道府県主催研修の年度内再受講申込者をeラーニングシステムに登録する際は、eラーニングサポート窓口elearning-support@qst.go.jpまでご連絡ください。【本資料p. 39、 40の緑色ハイライト箇所】
(登録の際必要となる当該者のメールアドレスの無効化は、従来は、研修管理者にお願いしていましたが、今後はサポート窓口で行います)

※eラーニングシステムについての別資料「研修管理者用操作マニュアル変更内容新旧対照表」もご参照ください。

原子力災害医療基礎研修

- 原子力災害に係る基礎知識の習得が目的
- 標準テキストを使って 8 コマの講義※を、令和 5 年度までは、対面形式やライブ配信オンライン形式で実施してきた。
 - ※後述のとおり、令和 6 年度からは、これらの開催方式に加えてeラーニングも可能になったが、引き続き、これらの開催方式での研修も可能
- 立地道府県等が実施主体となって開催

【根拠】

原子力災害対策指針では立地道府県等の役割として「立地道府県等内の原子力災害医療に係る者に対して、基礎的な研修を実施すること」と記載

※ 8 コマの講義

- 原子力防災体制
- 放射線の基礎
- 放射線の影響
- 放射線防護
- 汚染検査・除染
- 安定ヨウ素剤
- 避難退域時検査
- 避難と屋内退避の支援

基礎研修eラーニングの必要性

原子力災害医療基礎研修

- 全ての研修のベースとなる研修（下図の「ステップアップ研修体系」参照）
- 従来は対面又はライブ配信オンライン形式で開催

【課題】

当該研修の修了資格がないと上位の研修の受講ができないにもかかわらず、受講日時が限定される。そのため、日々の業務で忙しい医療従事者にとっては最大のネックであり、研修受講者数拡大の障壁となっている。

上記課題の解決策としてのeラーニングの必要性と対応状況

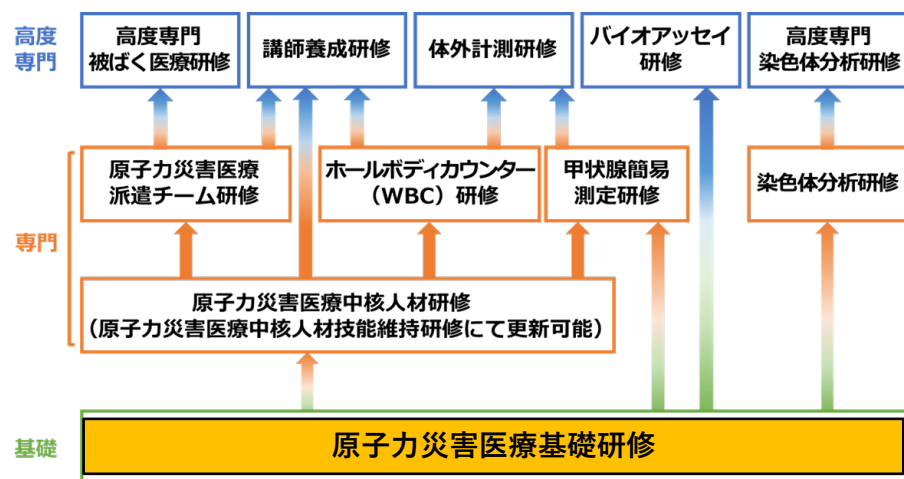
受講希望者の受講機会を増やし原子力災害医療関係者の裾野を広げるためには、受講者自身の都合でいつでも受講が可能※な、eラーニングを追加することが必要。

（一方で、地域の実情を踏まえ、これまでの対面形式やライブ配信オンライン形式も可とし、受講の選択肢を増やす。）

※本eラーニングでは、研修開催期間中であれば1日24時間受講可能。



QSTは、原子力規制庁、他の高度被ばく医療支援センター、研修部会などと協議しながら、基礎研修eラーニングの準備作業を進め、令和6年度より運用を開始した。



基礎研修eラーニングの方針

- ① eラーニング形式導入後も、研修実施主体は原子力災害対策指針に基づき、引続き立地道府県等とする。
- ② eラーニング運用開始後も、従来の対面又はライブ配信オンライン形式での基礎研修開催は可能（eラーニングのみ、従来形式のみ、両方開催、いずれも可能）。

【参考情報】

上記に加え、令和7年6月より、対面・参集型として基礎研修eラーニング標準動画教材を研修室等で受講者へ視聴させ、到達度確認テストの代わりとして質疑応答を行う形式（eラーニングシステムは使用しない）での開催も可能になった。詳細は以下を参照。

<https://www.qst.go.jp/uploaded/attachment/46796.pdf>

基礎研修eラーニングの内容

- ① eラーニングシステムは、パッケージ型の外部クラウドサービスで整備し、オンデマンドでの受講を可能にした。
- ② eラーニングで道府県が開催する各研修は、以下の構成とする。
 - (1) 基礎研修必須コース
 - 現行の基礎研修8コマの講義を動画教材にする(1コマ25分程度)。
 - 動画教材は、標準テキストを使って研修部会が作成し、eラーニングシステムに内蔵されている。全ての研修で受講必須。
 - 各講義視聴後、テストを実施。
 - (2) 道府県独自コース
 - 基礎研修必須コースに付随して、各道府県での地域独自の情報等を教育するための教材(動画またはPDF)やテストを組み込むようにする(動画だと最大30分×3コマが目安)。
 - 実際に独自講義を行うかどうかは、研修主催者である道府県の判断(あくまで任意)で、教材やテストは道府県が作成。

各研修の構成

講義1 動画
講義2 動画
講義3 動画
講義4 動画
講義5 動画
講義6 動画
講義7 動画
講義8 動画

+

講義教材A
講義教材B
講義教材C

基礎研修必須コース

- 動画教材は、標準テキストを使って研修部会が作成(25分程度×8コマ)
- システムに内蔵され、受講必須。

道府県独自コース

- 動画、PDF
- 動画だと30分×3コマの講義が可能
- 独自講義を実施するかどうかは道府県が判断
- 教材やテストは道府県が作成

基礎研修eラーニング必須コースの詳細

- ① 講義1から講義8までの動画教材を順番に視聴。
- ② 各講義動画視聴後にテストがある。
 - 各講義5～19問のプール問題（到達度確認テスト問題）からランダムに3問出題される。
 - 解答後に正解と解説が表示される。
 - 全問正解で合格し、次の講義動画教材を視聴できる。不合格の場合は、合格するまで再受験する（同じ問題が出題される）。
- ③ 全ての講義動画教材を視聴して全てのテストに合格し、最後のアンケート（教材やシステムなどに関するアンケート）に回答すると受講完了となる。この時点で、基礎研修を修了したことになり、上位研修の受講が可能になる。
- ④ 研修開催者が、各受講者についてeラーニングシステムで受講の設定を行った後、当該受講者は1カ月以内に受講を完了させる必要がある（学習効果の観点から、被ばく医療研修認定委員会規程※で定められている）。この期間内に受講を完了できなかった場合は、それまでの受講実績などは無効となる。

※「被ばく医療研修認定委員会の運用に関する取決め」第16条

<https://www.qst.go.jp/site/nirs/rem-committee.html>

eラーニングシステムで受講者ができること

- ① 受講（講義動画視聴、テスト受験）
- ② 講義内容について研修開催責任者に質問できる
- ③ 受講実績（受講の進捗状況、テスト結果など）の確認



受講トップページ



①講義動画視聴ページ



②質問入力画面

- ③プログレスバー
どの講義あるいはテストまで
進捗したか確認できる



①テストページ



①解答と解説ページ

eラーニングシステムで道府県等の研修管理者ができること

- ① 道府県独自コースの作成（任意）
- ② 受講者をシステムに登録し、基礎研修必須コースと道府県独自コースに受講者を割り当て、受講を可能にする
- ③ 受講者からの質問を受け付ける※
※研修管理者は、研修開催責任者に回答作成を依頼してください（eラーニングシステム上ではなく、別途メールなどで）。作成いただいた回答は、メールなどで質問者に送付してください（eラーニングシステム上では回答できません）。
- ④ 受講実績の確認（受講者一覧、受講履歴一覧、試験解答一覧など）

受講者一覧

対象コース: ht_原子力災害医療基礎研修（標準コース）

受講者数: 2

青森県

☐ 削除済みユーザーを含める

[受講者一覧をダウンロード](#)

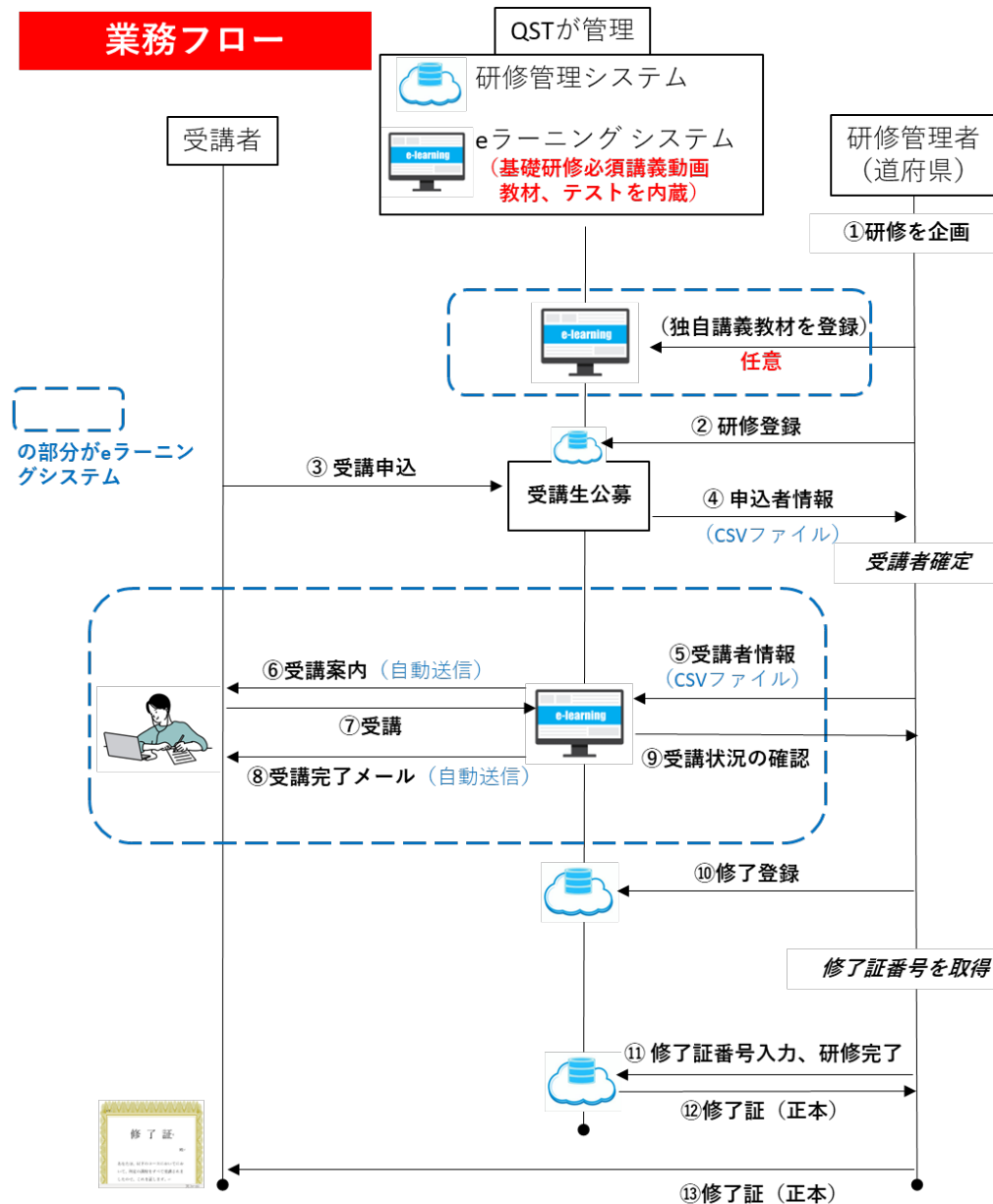
アカウント名	氏名	メールアドレス	権限	グループ	受講講座数	受講開始日時	進捗	受講期限日時	受講完了日時	状態	操作
ht_aomori02	ht青森県 研修生2	ht_aomori02@sample.com	一般	ht_吉森製	2	2023/10/30 15:29:27	4/7のレクチャーを完了 	2030/10/31 23:59:00		受講可	編集
ht_aomori03	ht青森県 研修生3_1	ht_aomori03@sample.com	一般	ht_吉森製	2	2023/10/30 15:29:27	2/7のレクチャーを完了 	2030/10/31 23:59:00		受講可	編集

この画面では、各受講者の、研修が受講可能になった日時・受講完了日時、進捗状況などを確認できる

基礎研修eラーニングの開催手順

- 受講申込と受講者情報管理は従来どおり研修管理システムを使う。
- 研修管理システムとeラーニングシステムとのシステム統合はされていない（研修管理システムの安定性を確保するため）。
- 業務フローは、右図のとおり。作業は道府県が直接行う場合と外部委託する場合が想定される。
- 業務フローについては、従来の対面又はライブ配信オンライン研修が、eラーニング研修に置き換わっただけで、研修前後の事務手続きは従来とあまり変わらない。
- 従来形式の研修では、講師やスタッフを手配する必要があり、費用や手間がかかった。一方、eラーニングシステムを使った基礎研修は無料で、契約手続きも不要。
- 被ばく医療研修認定委員会規程が定めた要件を満たしたeラーニングシステム※を使った研修については、従来形式の研修で行っていた、認定委員会への認定申請（事前）と実施報告（事後）を行うことなく認定される。ただし、研修管理者は、実施報告の代わりに、修了者を認定委員会事務局に報告し、修了証番号の交付を受ける必要がある。

※QSTが整備したeラーニングシステムは、これに該当



<準備>被ばく医療研修管理システムとeラーニングシステムに「研修管理者」として登録

登録申請書はelearning-support@qst.go.jpまでご請求ください。

研修名の先頭に、必ず「【eラーニング】」を入れてください。

①研修を企画

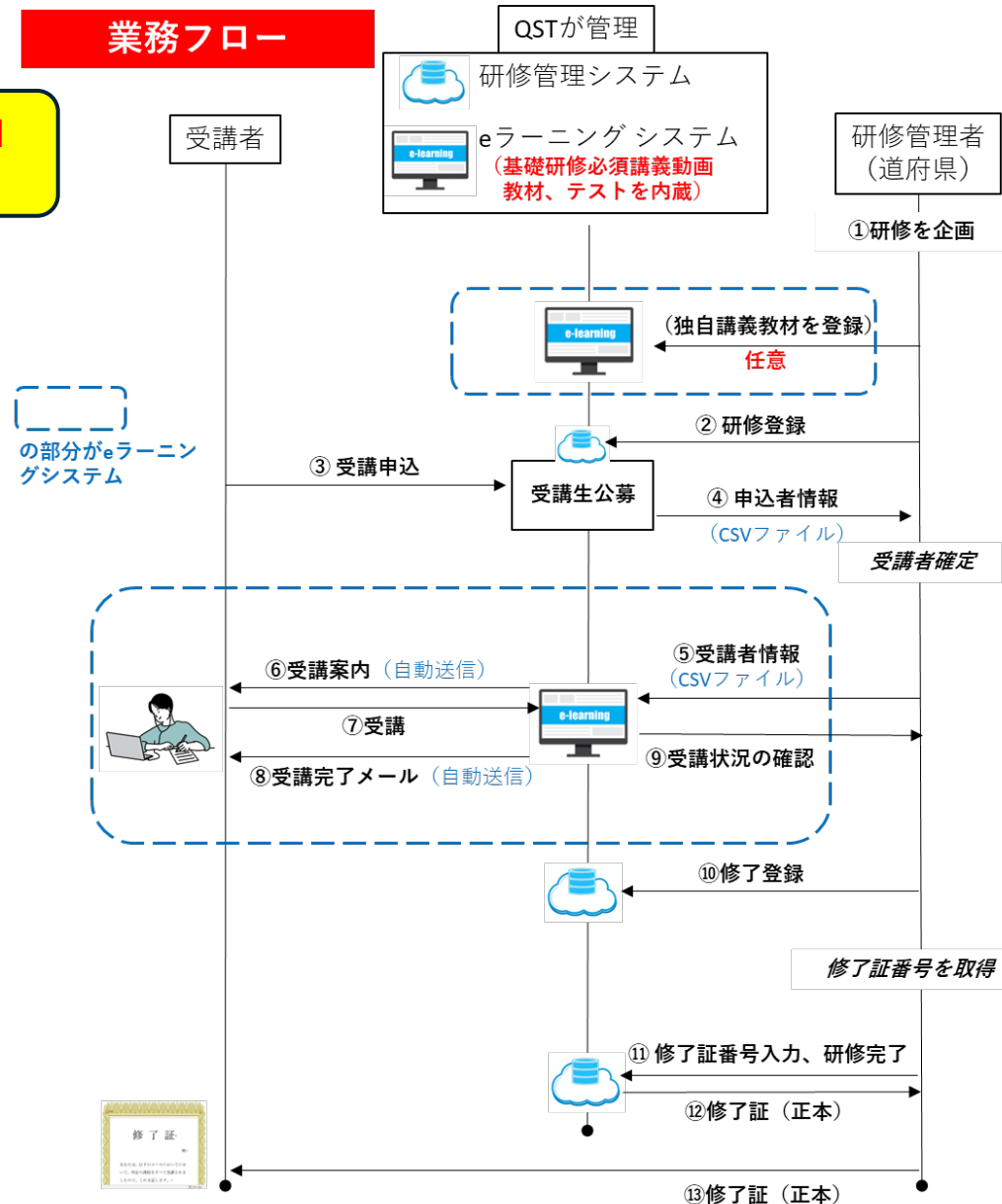
【決めるべきこと】

- 開催形態（月単位開催or通年型開催）
- 研修名（例：【eラーニング】令和8年度〇〇県原子力災害医療基礎研修）
- 受講申込期間※
- 受講期間※
- ※最長で年度内通年とするが、年度末の整理のため、遅くとも2月末までに終了とする。
- 道府県独自の講義・テストを実施するか否か（教材やテストの作成は道府県でお願いします。）
- 研修開催責任者
 - 主な役割：受講者からの質問に回答
 - 資格：原子力災害医療に関する研修の講師経験者（従来形式の基礎研修と同じ）



募集要項を作成

業務フロー



基礎研修eラーニングの開催形態

以下のいずれかの形で開催をお願いしたい。

1. 月単位開催研修
2. 通年型開催研修

基礎研修eラーニングの開催形態

1. 月単位開催研修

- 研修は月単位で開催※¹、※²（開催ごとに研修管理システムに研修を登録する）。
- 募集期間は、研修開催前の任意の期間とする。
- 受講期間は、1ヶ月間とする※²。
- 研修管理者は、受講開始日にeラーニング受講案内を受講申込者に送付※³。
- 案内に従って、受講者は受講期間内に受講を完了させる※²。
- 受講機会を確保するため、年度内に十分な回数の研修を開催することが推奨される。

※¹ 年度末の整理のため、遅くとも2月末までに研修を終了させる。

※² 研修管理者が、各受講者についてeラーニングシステムで受講の設定を行った後、当該受講者は1カ月以内に受講を完了させる必要がある（学習効果の観点から、被ばく医療研修認定委員会規程で定められている）。

※³ 研修管理者が受講申込者をeラーニングシステムに登録し、受講させる研修に割り当てることにより、受講案内が自動送信される。

【開催例】

令和8年度中に研修を3回開催

	募集期間	受講期間
第1回研修	令和8年6月1日～30日	令和8年7月1日～31日
第2回研修	令和8年9月1日～30日	令和8年10月1日～10月31日
第3回研修	令和8年12月1日～15日	令和8年12月16日～令和9年1月15日



基礎研修eラーニングの開催形態

2. 通年型開催研修

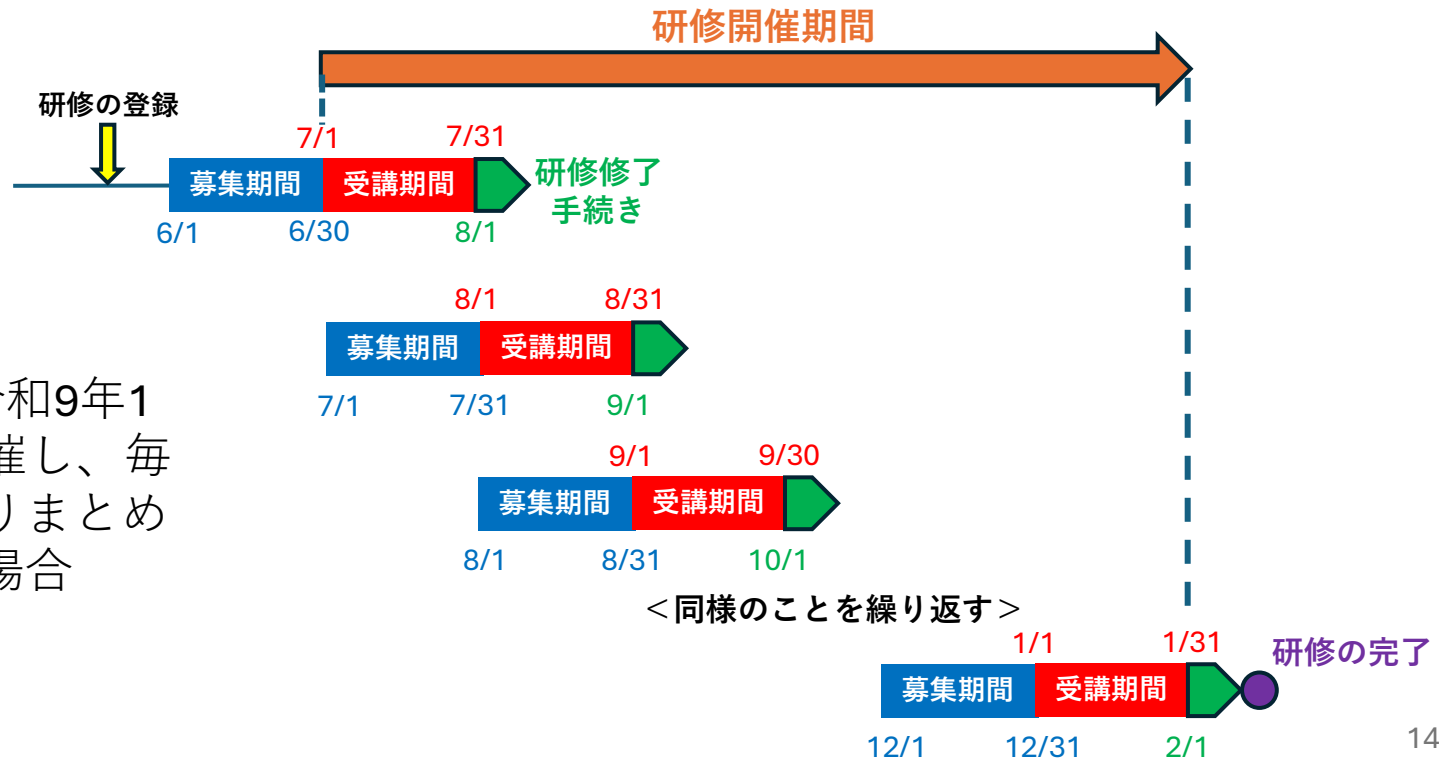
- 研修は年度内通年で開催※¹（研修管理システムに研修を登録するのは年度内に1回のみ）。
- 受講申込は随時受け付け、研修管理者は、毎月初（1日でなくても可）にとりまとめて※²、eラーニング受講案内を受講申込者に送付※³。
- 案内に従って、受講者は1カ月以内に受講を完了させる※⁴。

※¹研修の開始は4月1日でなくてもよい。年度末の整理のため、遅くとも2月末までに研修を終了させる。

※²一例であり、他の期間（例：1週間）ごとに取りまとめる、申し込みがあるごとに対応する、といったことでも可。

※³研修管理者が、受講申込者をeラーニングシステムに登録し、受講させる研修に割り当てることにより、受講案内が自動送信される。

※⁴研修管理者が、各受講者についてeラーニングシステムで受講の設定を行った後、当該受講者は1カ月以内に受講を完了させる必要がある（学習効果の観点から、被ばく医療研修認定委員会規程で定められている）。



【開催例】

令和8年7月1日～令和9年1月31日に研修を開催し、毎月初に申込者を取りまとめて受講を開始する場合

募集要項の例（その1）

赤字部分は記載必須

【eラーニング】令和8年度〇〇県原子力災害医療基礎研修 募集要項

1. 目的
2. 対象者
3. 開催期間
4. 開催形式

eラーニング

受講期間内であれば、いつでもオンラインで受講可能ですが、eラーニングシステムで受講の設定が行われた後（メールで通知があります）、1カ月以内に受講を完了させる必要があります。

※本研修では、量子科学技術研究開発機構が運用する「原子力災害医療研修eラーニングシステム」を使用します。同システムからの自動送信メールはno-reply@share-wis.comで発信されますので、受信が可能なように設定をお願いします。

※eラーニングシステムの操作マニュアルはhttps://assets.share-wis.com/uploads/editor_file/file/54117/manual_Ver.3.pdfからダウンロードできます。

※eラーニングシステムで受講を完了した時点で、基礎研修を修了したことになり、上位研修（原子力災害医療中核人材研修、甲状腺簡易測定研修など）の受講が可能になります。

5. 研修内容

講義1 原子力防災体制

講義2 放射線の基礎

講義3 放射線の影響

講義4 放射線防護

講義5 汚染検査・除染

講義6 安定ヨウ素剤

講義7 避難退域時検査

講義8 避難と屋内退避の支援

テキストは、以下のURLからダウンロードできます。

<https://www.qst.go.jp/site/nirs/nuclear-emergency-medicine-text.html>

6. 受講料

無料

募集要項の例（その2）

赤字部分は記載必須

7. 申込要領

● 申込期間

● 申込方法

「被ばく医療研修ポータルサイト」より申し込みください。

※受講者用操作マニュアルはポータルサイトの「お知らせ」欄からダウンロードできます。

<https://retms.nirs.qst.go.jp/>



※上記ポータルサイトでは、研修開催期間は○月△日～○月△日と表示されていますが、本募集要項「3. 開催期間」に記載の期間に受講可能です。

8. 受講決定通知

受講開始日までに所属長及び本人宛に結果をメールで通知します。

9. 修了証書

基準を満たした受講生には被ばく医療研修認定委員会より修了証書を発行します。

10. 問合せ先

11. 個人情報の取り扱いについて

申込に際して御記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、当県の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用致しません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

また、本研修の受講を申し込んだことにより、eラーニングシステムのサイトポリシー（<https://rem-elearning.nirs.qst.go.jp/pages/738>）を了承し、同システムに個人情報を登録することに同意したとみなします。

通年型開催の場合のみ記載

② 企画した研修を研修管理システムに

登録し、受講者募集を開始

管理者用ログイン画面よりログイン
(利用システムのマニュアルp. 9-17)

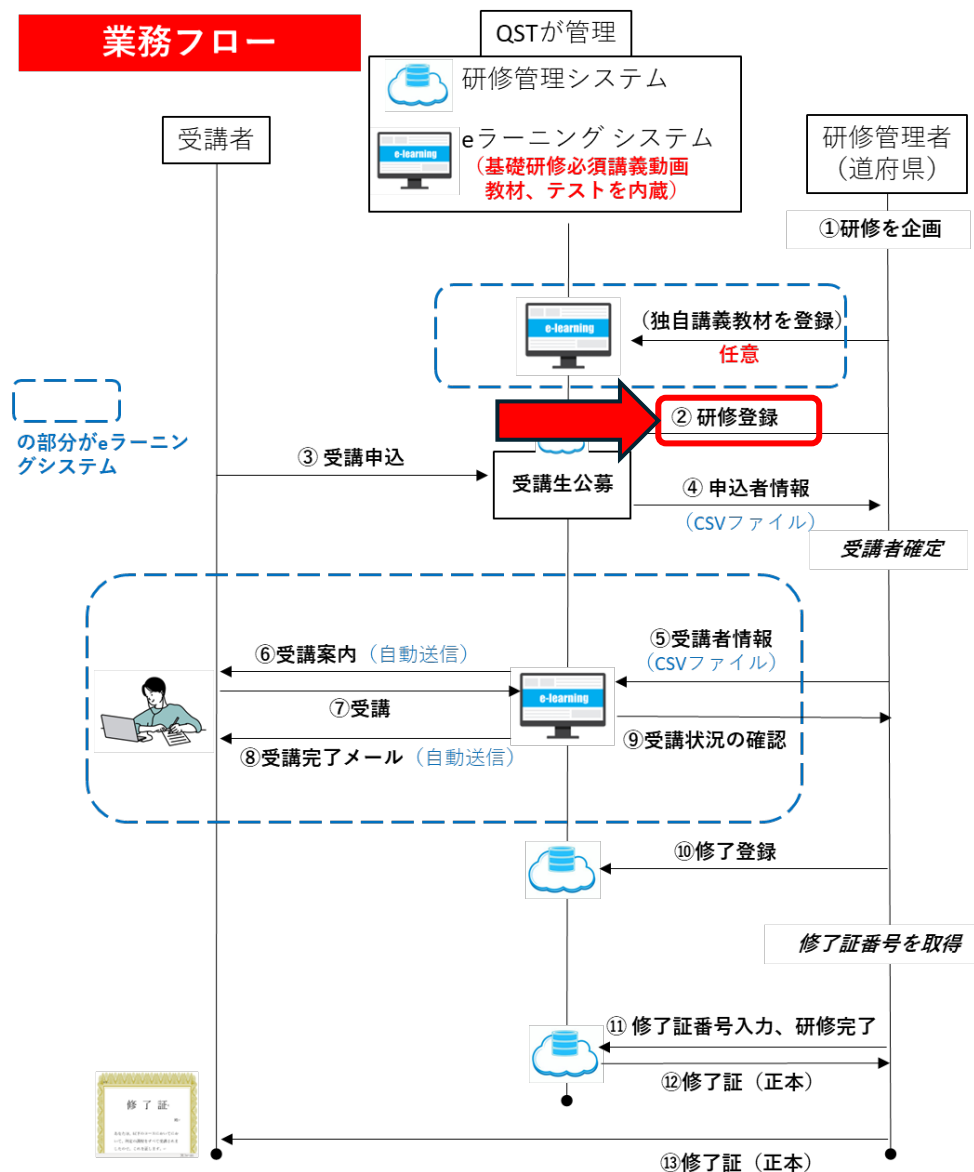


新規研修登録画面へ
(利用システムのマニュアルp. 20-23)

年度(西暦)*	
実施機関*	量子科学技術研究開発機構
研修コース名*	原子力災害医療基礎研修 ☒
研修名*	
研修担当者所属部署名	原子力防災推進部人材育成・研修課
研修担当者氏名*	府馬 正一 ☒
研修担当者電話番号	043 - 379 - 7808
研修担当者メールアドレス*	fuma.shoichi@qst.go.jp ☒
研修担当者メールアドレス(確認)*	fuma.shoichi@qst.go.jp ☒
開催地	
研修開始日*	
研修終了日*	
研修申し込み開始日*	
研修申し込み締切日*	
募集人員	
修了証書責任者所属部署名	
修了証書責任者氏名	
募集要項PDFファイル	アップロード
掲載開始日*	
掲載終了日*	
備考	

利用システム:  研修管理システム

業務フロー



② 企画した研修を研修管理システムに登録し、受講者募集開始

【月単位開催】研修情報の登録（利用システムのマニュアルp. 24-42）

- 必要事項を入力してください。

<注意事項>

- 「研修コース名」は「原子力災害医療基礎研修」を選択してください。
- 研修名の先頭に、必ず「**【eラーニング】**」を入れて登録してください。
- 講師は、講義「原子力防災体制」では研修開催責任者を選択してください。その他の講義では「elearning研修講師」を選択してください。

② 企画した研修を研修管理システムに登録し、受講者募集を開始

利用システム:  研修管理システム

【通年型開催】研修情報の登録（利用システムのマニュアルp. 24-42）

- 必要事項を入力してください。

<注意事項>

- 「研修コース名」は「原子力災害医療基礎研修」を選択してください。
- 研修名の先頭に、必ず「**【eラーニング】**」を入れて登録してください。
- 講師は、講義「原子力防災体制」では研修開催責任者を選択してください。その他の講義では「elearning研修講師」を選択してください。
- 「研修開始日」欄は、カレンダーより研修終了日を選択してください。
- 「開催地」欄には、「eラーニング通年型開催」である旨と実際の受講期間を記載してください。
- 「備考」欄には、実際の受講期間を記載してください。

例) 募集期間：2026年6月1日～12月31日

研修開催期間：2026年7月1日～2027年1月31日

研修管理システムでは、研修申し込み締切日以降の日付でないと研修開始日として選択できないため、「研修開始日」は、研修終了日を選択してください。

「eラーニング通年型開催（受講期間は2026/7/1～2027/1/31）」と入力

カレンダーより2027年1月31日を選択

2027年1月31日を選択

2026年6月1日を選択

2026年12月31日を選択

「本研修は2026年7月1日～2027年1月31日に受講できます」と入力

開催地	
研修開始日*	
研修終了日*	
研修申し込み開始日*	
研修申し込み締切日*	
募集人員	
修了証書責任者所属部署名	
修了証書責任者氏名	
募集要項PDFファイル	アップロード
掲載開始日*	
掲載終了日*	
備考	

② 企画した研修を研修管理システムに登録し、受講者募集開始

登録した研修が被ばく医療研修ポータルサイトに表示され、受講申込みが可能になる

研修開催予定一覧

基礎

研修名	研修実施期間	申し込み期間	開催地	実施機関
【eラーニング】令和6年度福井県原子力災害医療基礎研修	2025/02/28～ 2025/02/28	2024/04/01～ 2025/01/31	eラーニング通年型開催（受講期間は2024/5/1～2025/2/28）	福井県
令和6年度長崎県eラーニング原子力災害医療基礎研修	2025/02/05～ 2025/02/05	2024/05/22～ 2025/01/06	eラーニング通年型開催（受講期間は2024/6/3～2025/2/5）	長崎県
【eラーニング】令和6年度茨城県原子力災害時医療基礎研修 New	2025/01/31～ 2025/01/31	2024/07/22～ 2024/12/23	eラーニング通年型開催（受講期間は2024/8/1～2025/1/25）	公益財団法人原子力安全技術センター
（量研職員限定）【eラーニング】令和6年度第1回（量研）原子力災害医療基礎研修	2024/09/30～ 2024/09/30	2024/06/21～ 2024/08/28	eラーニング 3期（受講期間：令和6年9月1日～30日）申込期間中	量子科学技術研究開発機構
令和6年度佐賀県eラーニング原子力災害医療基礎研修（第2回） New	2024/09/02～ 2024/09/30	2024/08/02～ 2024/08/28	web	佐賀県
【eラーニング】令和6年度鳥取県原子力災害医療基礎研修 New	2024/09/02～ 2024/10/01	2024/08/01～ 2024/08/30		鳥取県
【eラーニング】令和6年度福島県原子力災害医療基礎研修（令和6年9月受講分） New	2024/09/01～ 2024/09/30	2024/08/01～ 2024/08/29		福島県

③ 受講希望者は研修管理システムから申し込む

受講申込者の情報は「**受講(申し込み)者一覧**」画面で確認できる（マニュアルp. 58-64）

被ばく医療研修ポータルサイト

システム 管理者 研修管理者

研修一覧 新規研修登録 各種情報検索 被ばく医療研修ポータルサイト

受講(申し込み)者一覧

検索条件

受講(申し込み)者名

申し込み状況

-- 申し込み状況選択 --

検索

CSVファイルダウンロード

検索

CSVダウンロード

研修名：原子力災害派遣研修

結果一覧

10 件表示

申し込み順に並んでいます
・上が最初に申し込んだ人
・下が後に申し込んだ人

申し込み状況

修了証番号

表示項目：項目を選択してください。

検索：

	受講申し込み詳細	受講者名	フリガナ	所属機関名	職種	申し込み状況	修了証番号	修了証プレビュー
☐	受講申し込み詳細	唐 天一	トウ テンイチ	量子科学技術研究開発機構	システムエンジニア	受講修了	112201190001	修了証プレビュー
☐	受講申し込み詳細	福地 令奈	フクチ レイナ	長崎大学	看護師	申し込み中		修了証プレビュー
☐	受講申し込み詳細	山田 太郎	ヤマダ タロウ	広島大学	医師	申し込み中		修了証プレビュー
☐	受講申し込み詳細	量研 太郎	リョウケン タロウ	国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院	医師	受講修了	111111111112	修了証プレビュー
☐	受講申し込み詳細	量研 正人	リョウケン マサト	量子科学技術研究開発機構	看護師	申し込み中		修了証プレビュー

8 件中 1 から 8 まで表示

修了証番号保存

<< < 1 > >>

「受講申し込み詳細」をクリックすると、申込者の詳細情報が表示される

【月単位開催】④研修管理者は、申込者情報から受講可否を判断し、受講者を確定

受講申込者を取りまとめ、受講可否を判断（受講開始日より前に実施）

（利用システムのマニュアルp. 79-84）

利用システム:  研修管理システム

受講(申し込み)者一覧画面で、

① 受講申込者の情報を確認

- 受講可と判断した申込者

→ 「申し込み状況」を「受講決定」に変更

共有メールアドレスを使用している申込者には、個人メールアドレスを連絡してもらう※

※eラーニングシステムでは、メールアドレスがIDとなるため。

連絡いただいた個人メールアドレスを研修管理システムに登録し直す必要はありません。

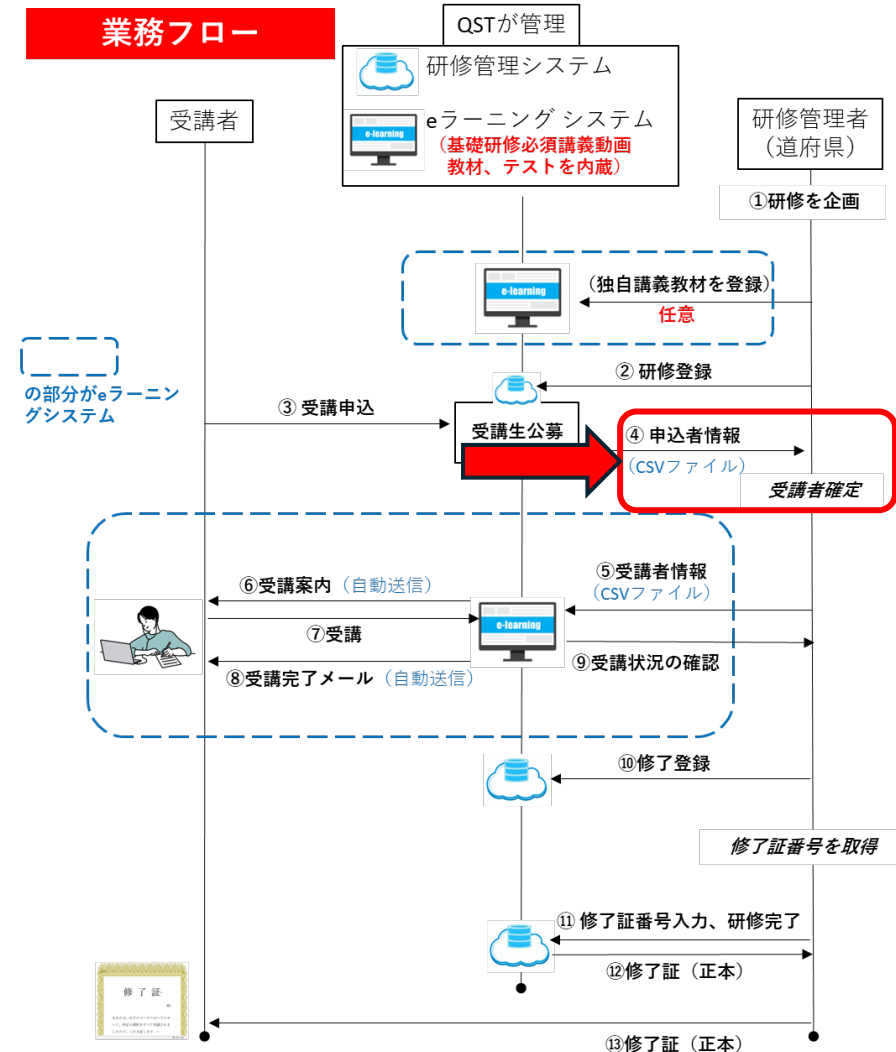
- 受講不可と判断した申込者

→ 「申し込み状況」を「受講不可」に変更

② 「検索条件：申し込み状況」欄で「受講決定」を選択して検索ボタンを押下し、受講決定者のみの一覧を表示させる

③ CSVファイル（受講決定者リスト）をダウンロード

共有メールアドレスの受講者については、CSVファイルのメールアドレスを、連絡いただいた個人メールアドレスに変更



【通年型開催】④研修管理者は、申込者情報から受講可否を判断し、受講者を確定
 受講申込者を取りまとめ、受講可否を判断（毎月、月初に実施）
 （利用システムのマニュアルp. 79-84）

以下の操作を行う前に、
 当月の受講決定者と前月の受講決定者が混在しないようにするため、「申し込み状況」が「受講決定」のままになっている人がいないことを確認すること
 （「検索条件：申し込み状況」欄で「受講決定」を選択して検索ボタンを押下し、該当者がいないことを確認）

受講(申し込み)者一覧画面で、

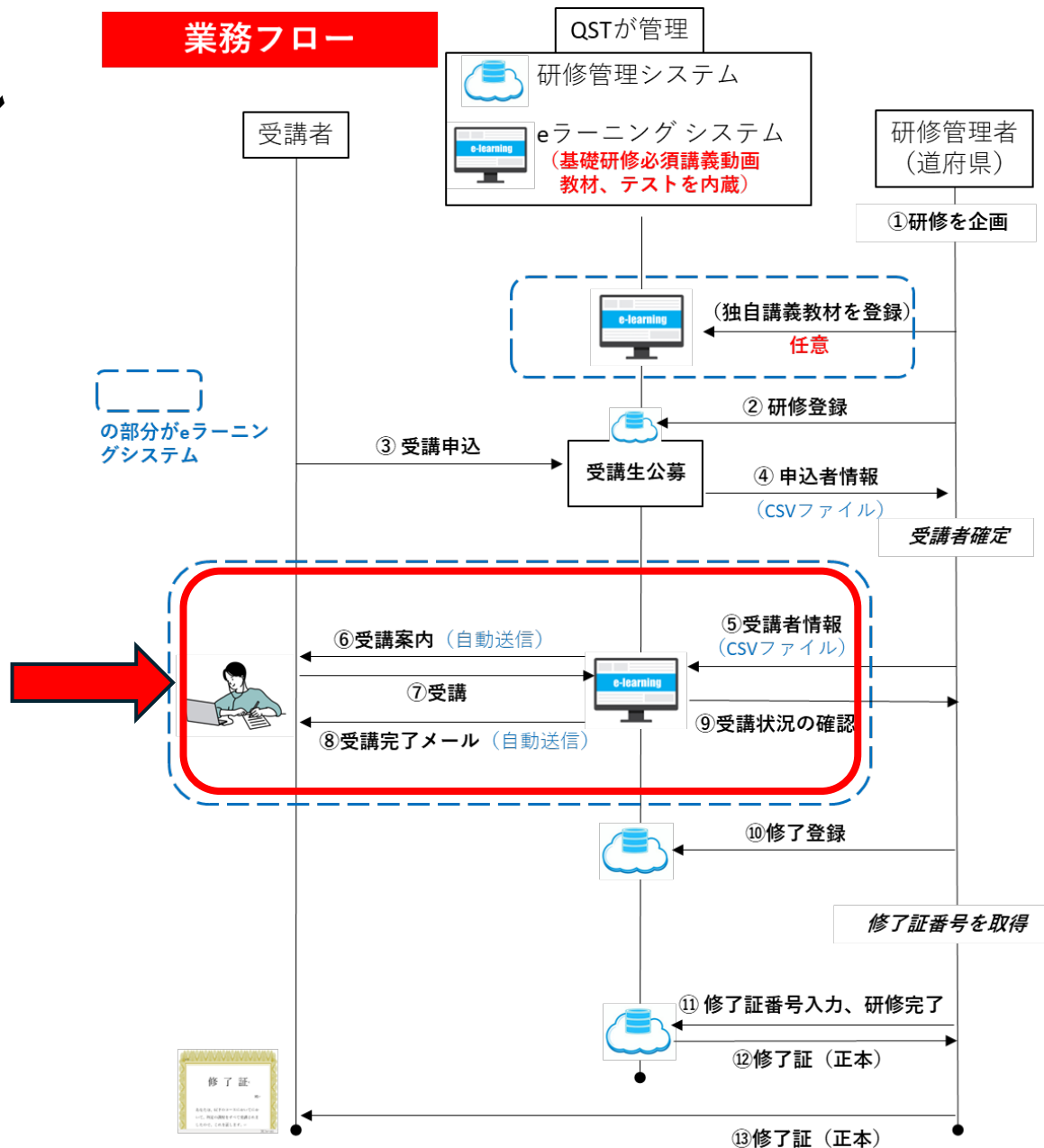
- ① 「検索条件：申し込み状況」欄で「申し込み中」を選択して検索ボタンを押下し、受講申込中の人のみの一覧を表示させる
- ② 受講申込者の情報を確認

- 受講可と判断した申込者→「申し込み状況」を「受講決定」に変更
共有メールアドレスを使用している申込者には、個人メールアドレスを連絡してもらう※

※eラーニングシステムでは、メールアドレスがIDとなるため。
連絡いただいた個人メールアドレスを研修管理システムに登録し直す必要はありません。

- 受講不可と判断した申込者→「申し込み状況」を「受講不可」に変更
- ③ 「検索条件：申し込み状況」欄で「受講決定」を選択して検索ボタンを押下し、受講決定者のみの一覧を表示させる
 - ④ CSVファイル（受講決定者リスト）をダウンロード
共有メールアドレスの受講者については、CSVファイルのメールアドレスを、連絡いただいた個人メールアドレスに変更

ここからeラーニングシステムでの作業になります



eラーニングシステムでの作業の流れ

【研修管理者】

受講開始日（通年型開催の場合は、月初）に、受講者をeラーニングシステムに登録する



受講者を研修コースに割り当てる（「コース配布」）



（必要に応じて受講状況を確認する）
受講者からの質問に回答する



受講期限※後（通年型開催の場合は、翌月の月初）に最終的な受講状況を確認。**受講記録はダウンロードして保存**（年度末に全てのデータは消去される）。

※基礎研修必須コースは1ヶ月



修了手続き（研修管理システム）

【受講者】

パスワード設定
依頼メール



パスワードを設定



受講可能通知メール



受講する



質問通知メール



質問する



受講完了

- 受講期限1週間前になっても受講完了していない受講者にはリマインドメールが自動送信される。
- 全ての講義動画を視聴し、全てのテストに合格後、最後のアンケートに回答すると受講完了となる。受講者には、受講修了通知メールが自動送信される。

道府県が独自の講義やテストを行う場合は、教材やテストを作成のうえ、予め、eラーニングシステムに独自研修コースを設定する必要がある。

1. 受講者をeラーニングシステムに登録する（マニュアルp. 13～17; [2-1][2-2]）

- ① eラーニングシステムで「ユーザー一覧」画面を開き、受講者登録用の「サンプルCSVファイル」（テンプレート）をダウンロード。

【注意】「サンプルCSVファイル」は使い回しをせず、受講者を登録する都度、新しいファイルをダウンロードしてください※。

- ② 研修管理システムからダウンロードした受講決定者リストのメールアドレスと漢字氏名をコピーし、「サンプルCSVファイル」の「email」列と「nickname」列にペースト。

【注意】作業後、氏名とメールアドレスが一致しているか確認してください※。

※eラーニングシステムから自動送信されるメールの誤送信を防ぐための措置ですので、必ず実施ください。

No.	年度	研修コース	研修名	実施機関	ステータス	氏名	フリガナ	性別	申込時の年	申込時の月	メールアドレス
1	2023	原子力災害	令和5年度	量子科学技	申し込み中	量研太郎	リョウケン	男性	58		ryoken.taro@qst.go.jp
2	2023	原子力災害	令和5年度	量子科学技	申し込み中	量研花子	リョウケン	男性	43		ryoken.hanako@qst.go.jp
3	2023	原子力災害	令和5年度	量子科学技	申し込み中	穴川次郎	アガナガワ	男性	55		anagawa.jiro@qst.go.jp

受講決定者リスト

email	username	nickname	groups	権限	閲覧可能
sample1@yamada_t		やまだ た	グループ1	一般	
sample2@yamada_t		やまだ た	グループ1	一般	
sample3@yamada_t		やまだ た	グループ1	一般	
sample4@yamada_t		やまだ た	グループ1	一般	
sample5@yamada_t		やまだ た	グループ1	一般	
sample6@yamada_t		やまだ た	グループ1	一般	
sample7@yamada_t		やまだ た	グループ1	一般	
sample8@yamada_t		やまだ た	グループ1	一般	
sample9@yamada_t		やまだ た	グループ1	一般	
sample10@yamada_t		やまだ た	グループ1	一般	

不要な事項は削除

「サンプルCSVファイル」
（テンプレート）

1. 受講者をeラーニングシステムに登録する（マニュアルp.13～17; [2-1][2-2]）

- ③ 「サンプルCSVファイル」の「username」列にアカウント名を入力
（道府県名の小文字アルファベット表記・開催回）_（研修生番号3桁）
例）北海道の第1回研修の受講者20名⇒「hokkaido1_001」～「hokkaido1_020」
- ④ 「サンプルCSVファイル」の「groups」列に道府県名を入力
例）「鹿児島県」
- ⑤ 「サンプルCSVファイル」を保存後、アップロードする。その後、「一括登録を実行」ボタンをクリックすると、登録が完了する。eラーニングシステムに登録されたので、パスワードを設定するよう指示したメールが受講者宛に自動送信される。

アカウント名を入力

（道府県名の小文字アルファベット表記・開催回）_（研修生番号3桁）

例）北海道の第1回研修の3番目の受講者⇒「hokkaido1_003」

email	username	nickname	groups	権限	閲覧可能
sample1@yamada_t	yamada_t	やまだ たけし	グループ1	一般	
sample2@yamada_t	yamada_t	やまだ たけし	グループ1	一般	
sample3@yamada_t	yamada_t	やまだ たけし	グループ1	一般	

道府県名を入力

例）鹿児島県

「サンプルCSVファイル」

上記の作業で登録できない場合（同一人物の二重登録などが考えられます）はeラーニングサポート窓口までご連絡ください。（elarning-support@qst.go.jp）

2. 受講者を研修コースに割り当て、受講を開始させる（「コース配布」）

（マニュアルp. 22～25; [3-1][3-2]）

利用システム:  eラーニングシステム

- ① 「コース配布履歴一覧」画面を開き、コース配布用の「サンプルCSVファイル」をダウンロード
- ② ユーザー登録用のCSVファイルの「username」をコピーし、①でダウンロードしたコース配布用「サンプルCSVファイル」の「username」列にペースト
- ③ 「コース一覧」画面で、受講させたい研修のコースIDを確認し、「サンプルCSVファイル」の「course_id」列に入力
- ④ 「サンプルCSVファイル」の「expiry_date」列に受講期限日時（受講開始の1カ月後；例：2026年10月1日受講開始の場合、2026/10/31 23:59:00）を入力
- ⑤ 「サンプルCSVファイル」をファイル名を変えずに保存後、アップロードする。その後、「一括登録を実行」ボタンをクリックすると、コース配布が完了する。受講が可能になったことを通知するメールが受講者に自動送信される。

email	username	nickname	groups	権限
sample.address01	yamada_taro1	山田 太	千葉県	一般
sample.address02	yamada_taro2	山田 汰	千葉県	一般
sample.address03	yamada_taro3	やまだ	千葉県	一般
sample.address04	yamada_taro4	山田 大	千葉県	一般
sample.address05	yamada_taro5	山田 田	千葉県	一般

「ユーザー登録用のCSVファイル」

③コピー・ペースト

④		⑤	
username	course_id	course_id	expiry_date
yamada_taro1	12345	#####	#####
yamada_taro2	12345	#####	
yamada_taro3	12345		
yamada_taro4	12345		
yamada_taro5	12345		

「サンプルCSVファイル」

注）上記の他、コース配布は受講者一人ずつ行うこともできます（マニュアルp. 28～29; [3-3]を参照）

3. 受講状況を確認する（マニュアルp. 40～41; [5-1]）

特定の研修コースの受講者全員の受講状況を一覧で確認したい場合

「コース一覧」画面→「受講者数」の列の数字をクリックして「受講者一覧」画面に遷移



各研修コースの受講者一覧を示し、各受講者の進捗状況（講義やテストがどこまで終了しているか）、当該研修コースが受講可能になった日時・受講完了日時を確認できる

コース
一覧画面

コース一覧											
管理画面トップ ユーザー ユーザー一覧 グループ一覧 コース コース一覧 レポート 受講履歴一覧 コース配布履歴一覧 試験結果一覧 フォーム返信一覧 コメント コメント一覧 質問一覧 お知らせ お知らせ一覧 ログアウト											
ID	コースタイトル	カテゴリ	タグ	講師名	コースタイプ	公開状態	グループ設定	レクチャー数	受講者数	コメント受付	
19694	基礎研修100			向馬 正一	プロコース	下書き	受講可: 〇△異	0	0	○	閲覧 編集 複製 削除
20133	原子力災害医療基礎研修（必修）			システム管理者サンプル1	プロコース	限定公開	全員受講可	5	6	○	閲覧 編集 複製 削除

受講者数をクリック



受講完了日時が表示されていれば受講完了

受講者
一覧画面

受講者一覧											
対象コース: 原子力災害医療基礎研修（必修） 受講者数: 10											
☐ 削除済みユーザーを含める 受講者一覧をダウンロード											
アカウント名	氏名	メールアドレス	権限	グループ	受講講座数	受講開始日時	進捗	受講期間日時	受講完了日時	状態	操作
admin_chiba	千葉県研修管理者	sample20231203@xx.com	研修管理者	千葉県	2	2023/12/11 09:21:09	0/5のレクチャーを完了	-	-	受講可	編集
k_admin01	研修管理者サンプル1	support+k-admin01@share-wis.com	研修管理者		1	2023/12/07 09:22:49	0/5のレクチャーを完了	-	-	受講可	編集
anagawa_taro1	穴川 たろう	abc@sample.com	一般	千葉県	1	2023/12/05 09:46:46	2/5のレクチャーを完了	-	-	受講可	編集
sakuraba_koji	櫻庭 幸治	sakuraba.koji@qst.go.jp	一般		1	2023/12/05 08:59:42	5/5のレクチャーを完了	-	2023/12/05 16:28:11	受講可	編集
uzawa_katsumi	鵜澤 勝己	uzawa.katsumi@qst.go.jp	一般	千葉県	1	2023/12/01 16:29:39	0/5のレクチャーを完了	-	-	受講可	編集

4. 受講者からの質問に回答する（マニュアルp. 36～37; [4-3]）

- ① 受講者がeラーニングシステム上で質問をすると、「質問・コメント通知メール」が、eラーニングサポート窓口から研修管理者に送信されます。このメールには、以下の事項が記載されています。
 - 受講者（質問者）名
 - 研修コース名
 - 講義名
 - 質問の内容
- ② 研修開催責任者に回答作成を依頼（eラーニングシステム上ではなく、別途メールなどで）。
- ③ 研修開催責任者から受領した回答を、質問をした受講者に、**メールで送信してください**（eラーニングシステム上では回答できません）。その際、BCCにeラーニングサポート窓口elearning-support@qst.go.jpを入れてください。
（BCCを入れ忘れた場合は、別途elearning-support@qst.go.jpまでお知らせください）
 - 質問をした受講者のメールアドレスは、eラーニングシステム「コメント一覧」から取得してください（「コメント一覧」の「投稿ユーザー」列にある氏名（青文字）をクリック）。
- ④ システム管理者（QST）が「質問一覧」で、質問を【回答待ち】から【解決済】にします。

5. 研修完了後のeラーニングシステムでの作業

研修完了後に、以下の画面にある「ダウンロード」ボタンを押下して、受講記録を保存してください。

- 受講者一覧画面（コース一覧画面からアクセス）（マニュアルp. 40～41; [5-1]）
- ユーザー一覧画面（マニュアルp. 42～43; [5-2]）
- 受講履歴一覧画面（マニュアルp. 44; [5-3]）
- 試験解答一覧画面（「研修名-時系列」メニュー）（マニュアルp. 45～46; [5-4]）
- コメント一覧画面（マニュアルp. 34; [4-2-1]）

【注意】

年度末に、当該年度の受講記録などのデータはeラーニングシステムから全て消去します。

6. 道府県独自研修の実施（任意）

基礎研修必須コースに付随して道府県独自の研修を行う場合は、以下の作業をお願いします。

① 教材（動画またはPDF）やテストの作成

※動画教材は、目安として最大30分×3コマ

② 独自研修コースをeラーニングシステムに設定（マニュアルp. 53～63; [8]）

③ 受講者に、基礎研修必須コースとともに独自研修コースを配布して受講開始（下図と「2. 受講者を研修コースに割り当て、受講を開始させる」を参照）

【例】「yamada_taro4」に

- コースID: 12345（基礎研修必須コースを想定）
- コースID: 77777（道府県独自研修コースを想定）を配布

〈 サンプルCSVファイル 〉

	①	②	③	④
1	username	course_id	course_distribute_at	expiry_date
2	yamada_taro1	12345	2025/12/1 9:00	2025/12/31 23:59
3	yamada_taro2	12345	2025/12/1 9:00	2025/12/31 23:59
4	yamada_taro3	12345	2025/12/1 9:00	2025/12/31 23:59
5	yamada_taro4	12345	2025/12/1 9:00	2025/12/31 23:59
6	yamada_taro4	77777	2025/12/1 9:00	2025/12/20 23:59

↑
1人のユーザーに、2つ以上のコースを配布する場合、青実線で囲んだように行を追加してください。course idは1つのセルにつき1つのコースを入力できます。または研修コース別でコース配布用CSVファイルを作成してコース配布することもできます。

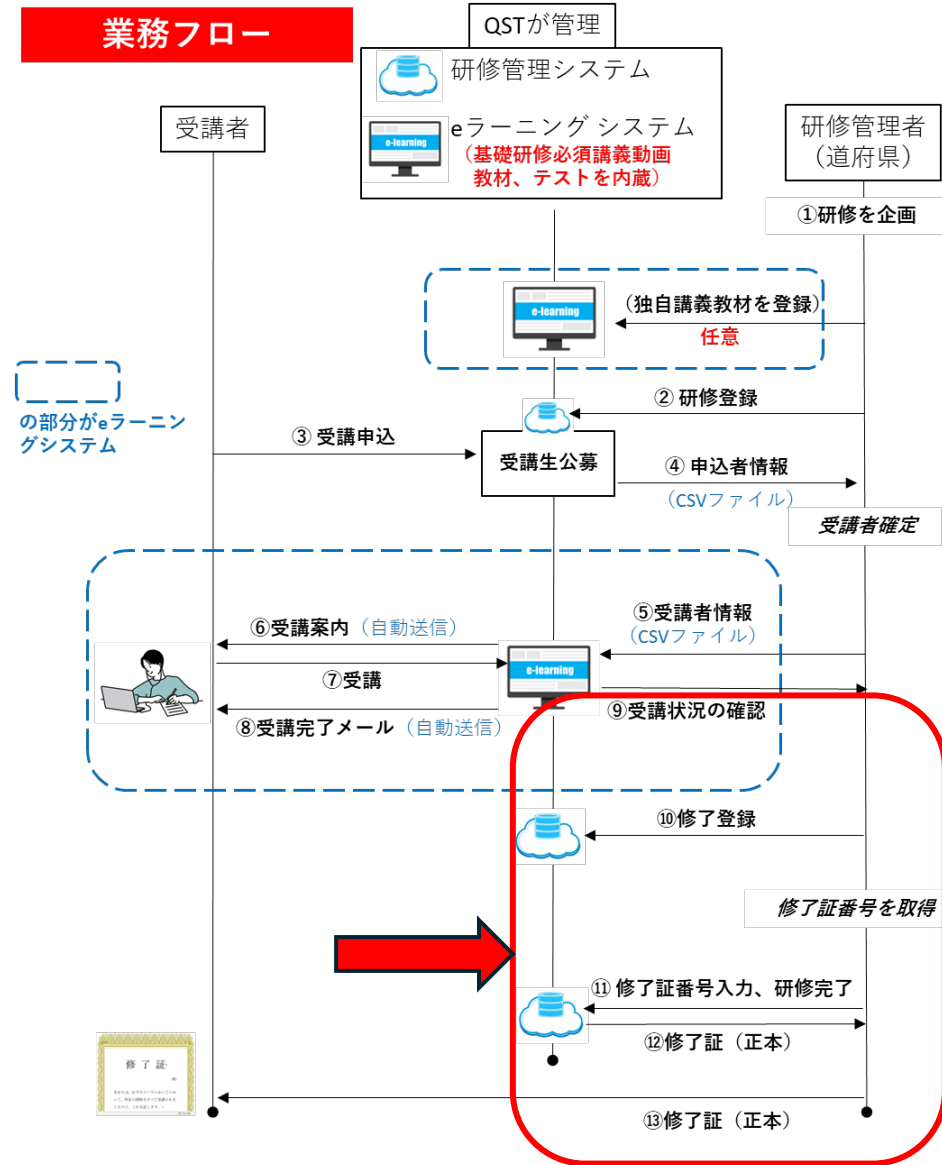
ご不明な点はeラーニングサポート窓口elearning-support@qst.go.jpまでお問い合わせください。

7. eラーニングシステムでの注意事項

①受講者ユーザーを削除する必要がある場合は（例：誤登録）、eラーニングサポート窓口elearning-support@qst.go.jpまでご連絡ください。

②受講者から研修内容について質問があった場合に、研修コースを確認できるよう研修管理者にもコースを配布しています。このため、研修管理者は研修を受講することもできますが、**正式な受講とは認められません**。正式に受講したい場合は、通常の受講者と同じ手続きをしてください。

ここから研修管理システム での作業に戻ります



【月単位開催】⑨～⑪受講修了・研修完了の手続
受講期限日以降に実施（マニュアルp. 74-75, 79-84, 97-98）

1. eラーニングシステムで、各受講者の受講状況を確認
2. 以下、研修管理システムの受講(申し込み)者一覧画面で
 - ① 「申し込み状況」の変更
 - 受講を完了した受講者
 - 「申し込み状況」を「受講修了」に変更
 - 受講を完了できなかった受講者
 - 「申し込み状況」を「受講未了」に変更
 - ② 「検索条件：申し込み状況」欄で「受講修了」を選択して検索ボタンを押下し、受講修了者のみの一覧を表示させる
 - ③ CSVファイルをダウンロード
 - ④ 受講修了者の氏名を、修了証番号交付申請書にコピー(ninteijimu@qst.go.jp)に提出する
 - ⑤ 被ばく医療研修認定委員会事務局より交付された修了証を提出する



研修別詳細画面

3. 研修管理システムの研修別詳細画面で「研修完了」ボタンを押下して、研修完了

【通年型開催】⑨～⑪受講修了・研修完了の手続 (マニュアルp. 74-75, 79-84, 97-98)

【受講修了手続（毎月の月初に実施）】

1. eラーニングシステムで、前月の各受講者の受講状況を確認
2. 以下、研修管理システムの受講(申し込み)者一覧画面で
 - ① 「検索条件：申し込み状況」欄で「受講決定」を選択して検索ボタンを押下し、受講決定者（前月に受講した人）のみの一覧を表示させる
 - ② 「申し込み状況」の変更
 - 受講を完了した受講者→「申し込み状況」を「受講修了」に変更
 - 受講を完了できなかった受講者→「申し込み状況」を「受講未了」に変更
 - ③ 「検索条件：申し込み状況」欄で「受講修了」を選択して検索ボタンを押下し、受講修了者のみの一覧を表示させる（注：この一覧は、前月の受講修了者とそれ以前の受講修了者が混在。申し込み順に表示され、最初に申し込んだ人が上、後に申し込んだ人が下になっている。）
 - ④ CSVファイルをダウンロード
 - ⑤ **前月の**受講修了者の氏名を、修了証番号交付申請書にコピペし、被ばく医療研修認定委員会事務局（hibaku-ninteijimu@qst.go.jp）に提出する
 - ⑥ 被ばく医療研修認定委員会事務局より交付された修了証番号を、受講(申し込み)者一覧画面の「修了証番号」欄に入力

【研修完了手続（研修開催期間中の最後の受講修了手続きが終わった後）】

研修管理システムの研修別詳細画面で「研修完了」ボタンを押下して、研修完了

修了証番号交付申請書

提出先：被ばく医療研修認定委員会事務局（hibaku-ninteijimu@qst.go.jp）

	申請日	

原子力災害医療基礎研修eラーニング修了証番号交付申請書

開催機関	機関名		
	所在地		
	連絡先	研修管理者氏名	
		所属	
		e-mailアドレス	
		電話番号	
機関種別	☐ 道府県 ☐ 拠点病院 ☐ 研修受託業者（委託元：_____） ☐ その他		
開催年度		令和7年度	
研修名			
開催期間			
研修開催責任者	氏名		
	所属		
使用したeラーニングシステム		原子力災害医療研修eラーニングシステム（QST）	

修了者名簿

No.	修了者氏名	修了証番号 (認定委員会事務局記載欄)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

⑫⑬修了証の発行 (マニュアルp. 76-78)

被ばく医療研修認定委員会名義の正式な修了証は、研修管理システムからダウンロードできる。

- 修了証には、「正本」と「写し」がある。
- 両者の違いは、「写し」のタイトルには「修了証書（写し）」と、「写し」が表記されているだけで、その他の記載内容と体裁は同一。
- 「正本」は研修管理者のみがダウンロードでき、「写し」は受講者自身がダウンロードできる。
- 「正本」を受講者に交付するかどうかの決まりはなく、研修管理者の判断（一律交付、希望者のみに交付、といった方針が考えられる）。

【参考】

- 「申し込み状況」を「受講修了」に変更した段階では、修了証番号が空欄の修了証が発行可能。ただし、「正本」のみ発行可能で、受講者は「写し」をダウンロードできない。
- さらに、修了証番号を入力して保存すると、完全な修了証が発行可能となる。受講者は「写し」をダウンロードできるようになる。
- 上記いずれの場合も、発行日は研修開催期間終了日となる。

例) 開催期間が令和8年7月1日～令和9年1月31日の通年型研修の場合、eラーニングでの受講完了日が令和8年10月15日の人であっても、修了証の発行日は令和9年1月31日となる。ただし、その人の基礎研修修了日は、令和8年10月15日とみなされるので（eラーニングシステムで確認可能）、それ以降開催の上位研修を受講可。また、修了証の有効期限は、受講修了日から3年後の年度末とされているので、この研修の場合、eラーニングでの受講完了日にかかわらず、有効期限は一律令和12年3月末となる。

これで研修開催の事務作業は完了です。

補足事項①

基礎研修eラーニングを**受講未了**となった受講者が、同じ年度に再受講を希望した場合の取り扱い

【同一道府県主催の月単位開催研修を再受講する場合】

後日開催の別の研修に、通常どおり（初回受講時と同じく）、研修管理システムから受講申込をしていただくようご案内ください。研修管理者の作業は、以下を除くと通常どおりです。

- 当該受講者をeラーニングシステムに登録する前に、eラーニングサポート窓口`elearning-support@qst.go.jp`までご連絡ください（前回受講時の登録メールアドレスを無効化します）。

【同一道府県主催の通年型開催研修を再受講する場合】

同一研修の後の方の受講期間で受講してもらってください。研修管理者の作業は、以下を除くと通常どおりです。

- 受講希望者に研修管理システムから再度受講申込をしていただく必要はなく、研修管理者が、研修管理システムにて当該受講希望者の「申し込み状況」を「受講未了」から「申し込み中」に変更してください。次いで、受講を開始する際に、他の受講決定者と一緒に、「申し込み状況」を「受講決定」に変更してください。
- 当該受講者をeラーニングシステムに登録する前に、eラーニングサポート窓口`elearning-support@qst.go.jp`までご連絡ください（前回受講時の登録メールアドレスを無効化します）。

【別の道府県主催の研修を受講する場合】

A県主催の研修で受講未了となった方が、B県主催の研修に申し込んだ場合、B県が当該受講者をeラーニングシステムにユーザー登録しようとしてもエラーとなって登録できませんので、eラーニングサポート窓口`elearning-support@qst.go.jp`までご連絡ください。

補足事項②

基礎研修eラーニングを受講修了した受講者が、同じ年度に再受講を希望した場合の取り扱い

【同一道府県主催の月単位開催研修を再受講する場合】

後日開催の別の研修に、通常どおり（初回受講時と同じく）、研修管理システムから受講申込をしていただくようご案内ください。研修管理者の作業は、以下を除くと通常どおりです。

- 当該受講者をeラーニングシステムに登録する前に、eラーニングサポート窓口elearning-support@qst.go.jpまでご連絡ください（前回受講時の登録メールアドレスを無効化します）。

【同一道府県主催の通年型開催研修を再受講する場合】

同一研修の後の方の受講期間で受講してもらってください。なお、受講修了しても、再受講時の修了証は発行できません。研修管理者の作業は、以下を除くと通常どおりです。

- 受講希望者に研修管理システムから再度受講申込をしていただく必要はありません（同システムの仕様上、同一研修への複数回の申し込みはできません）。研修管理者が、研修管理システムにて、当該受講希望者の前回受講時の「受講申し込み詳細編集」画面の「現在の職務内容及び受講理由」欄に、例えば「【10月期に2回目を受講修了】」などと記入してください（操作方法是次ページをご参照ください）。
- 当該受講者をeラーニングシステムに登録する前に、eラーニングサポート窓口elearning-support@qst.go.jpまでご連絡ください（前回受講時の登録メールアドレスを無効化します）。

【別の道府県主催の研修を再受講する場合】

A県主催の研修で受講修了した方が、B県主催の研修に申し込んだ場合、B県が当該受講者をeラーニングシステムにユーザー登録しようとするエラーとなってしまうので、eラーニングサポート窓口elearning-support@qst.go.jpまでご連絡ください。

利用システム:  研修管理システム

受講(申し込み)者一覧

検索条件

受講(申し込み)者名

申し込み状況

-- 申し込み状況選択 --

研修名: 【eラーニング】令和6年度千葉県原子力災害医療基礎研修

結果一覧

10 件表示

1回目受講の記録

受講申し込み詳細	受講者名	フリガナ	所属機関名	職種	申し込み状況	修了証番号
受講申し込み詳細	稲毛 太郎	イナゲ タロウ	量子科学技術研究開発機構	看護師	受講修了	222222222222

「受講申し込み詳細」をクリック



受講申し込み詳細編集

受講者名

稲毛 太郎

フリガナ

イナゲ タロウ

性別

男性

年齢

30

所属機関名(受講者)

量子科学技術研究開発機構

所属部署名(受講者)

12:千葉県

メールアドレス

xxxxx@qst.go.jp

申し込み者本人連絡先の
携帯電話番号

所属機関名(所属長)

量子科学技術研究開発機構

所属部署名(所属長)

所属長役職

所属長氏名

姓

現在の職務内容及び
受講理由

職務内容: 放射線治療患者の看護
受講理由: 併任先で原子力災害医療に従事することになったため

取得インセンティブ

原子力災害医療に関する
研修受講履歴

備考欄(資格等)

第1種放射線取扱主任者

備考欄(管理者用)

備考欄(データ管理者用)

申し込み状況

受講修了

修了証番号

222222222222

受講履歴一覧

研修名	研修コース名	状況	研修日程	実施機関
【eラーニング】令和6年度千葉県原子力災害医療基礎研修	原子力災害医療基礎研修	受講修了	2025/03/04~2025/03/21	量子科学技術研究開発機構

変更

閉じる

修了証発行

「変更」をクリック



受講申し込み詳細編集

受講者名

稲毛 太郎

フリガナ

イナゲ タロウ

性別

男性

年齢

30

所属機関名(受講者)

量子科学技術研究開発機構

所属部署名(受講者)

メールアドレス

xxxxx@qst.go.jp

申し込み者本人連絡先の
携帯電話番号

所属機関名(所属長)

量子科学技術研究開発機構

所属部署名(所属長)

所属長役職

所属長氏名

姓

現在の職務内容及び
受講理由

現在の職務内容及び
受講理由
【10月期に2回目を受講】

取得インセンティブ

原子力災害医療に関する
研修受講履歴

備考欄(資格等)

第1種放射線取扱主任者

備考欄(管理者用)

備考欄(データ管理者用)

申し込み状況

受講修了

修了証番号

xxxxxxxxxxxx

戻る

確認

閉じる

①「現在の職務内容及び受講理由」欄に、
例えば「【10月期に2回目を受講修了】」と
記入

②「確認」、その後「保存」をクリック

問い合わせ先

QST eラーニングサポート窓口

【メール】

elearning-support@qst.go.jp

【電話】（平日8:30～17:00）

 eラーニングシステムの操作・道府県独自研修の実施
043-379-7808

 研修管理システムの操作
043-206-4176

- その他の問い合わせ（例：基礎研修eラーニングの制度やルールに関すること）
043-206-4176